

参考資料

(検討資料)

第4章 駐車場整備に関する目標量

- 令和7年度、本計画の進捗について評価を行うための実態調査を実施し、目標量の達成状況を分析。
- 本計画の事業進捗や事業効果の検証等を行う「熊本市駐車場適正配置検討委員会」において、**目標年次(R12)に向けて実態に即した目標量を設定することが重要**とのご意見をいただいた。
- 今回の中間見直しでは、目標量の設定方法の精査を行い、**駐車場法第2条に規定する路外駐車場の適正台数(①及び②)を再設定**。

※駐車場法第2条第1項第2号…路外駐車場とは、道路の路面外に設置される自動車の駐車のための施設であって一般公共の用に供されるもの。

目標量の設定方法の精査

① 対象とする駐車場(路外駐車場)の選定

→ 駐車場法第2条に位置付ける路外駐車場を選定。

+

② 適正な駐車場台数の設定

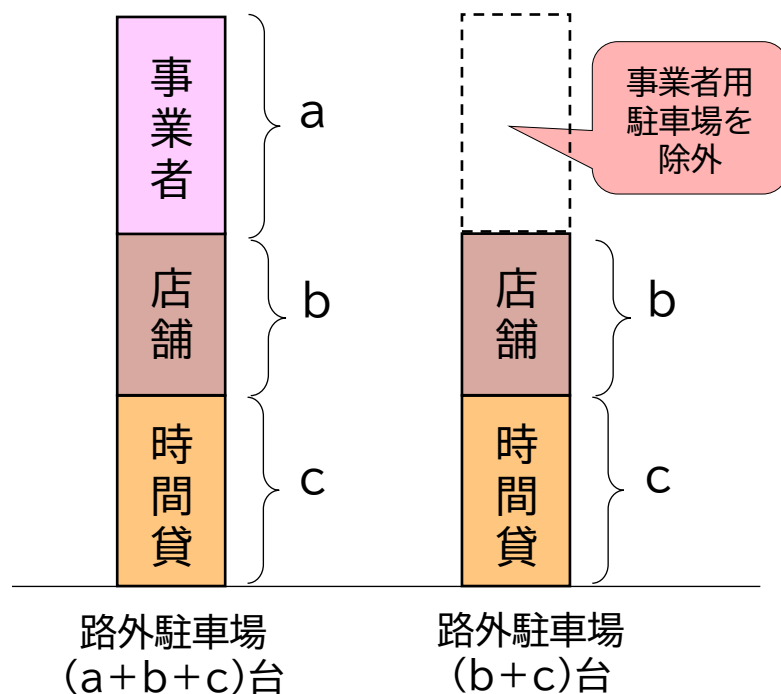
→ ①を踏まえ、当該計画で位置付けるべき駐車場台数を設定。

新たな目標量の設定【今回見直し】

▲中間見直しに向けた目標量の見直し検討フロー

【計画策定時】

【今回見直し】



▲路外駐車場の取扱いのイメージ

第4章 駐車場整備に関する目標量

- 計画策定時は、R1年度の路外駐車場の整備台数が19,390台であり、16,300台の目標量に対して約3,100台の削減を見込んでいた。
- 今回の見直しでは、一般公共の用に供さない事業者用駐車場を路外駐車場に該当しないものとみなし、R7年度の整備台数17,008台に対し、R12年度の目標量を16,014台に設定。

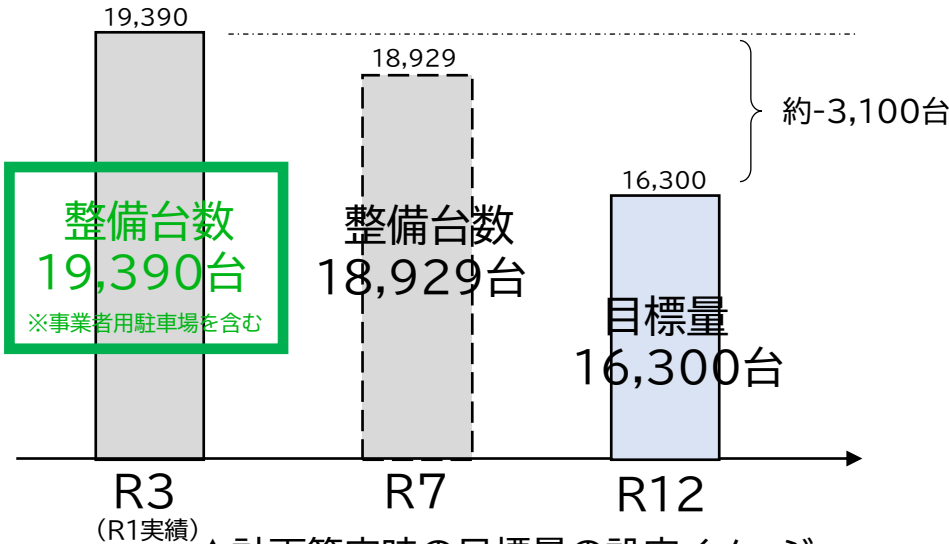
		駐車場整備地区	駐車場整備地区外
R1	路外駐車場	19,390	4,094
	路外駐車場以外	3,485	4,849
R7	路外駐車場	18,929	5,272
	路外駐車場以外	4,146	7,183

▲駐車場の整備台数の内訳（路外駐車場に事業者用駐車場を含む）

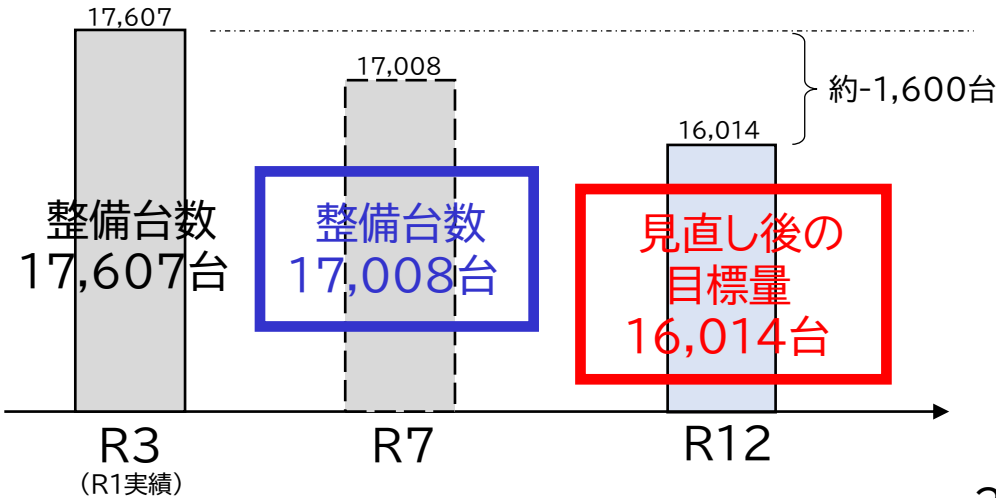
		駐車場整備地区	駐車場整備地区外
R1	路外駐車場	17,607	3,526
	路外駐車場以外	5,268	5,417
R7	路外駐車場	17,008	4,377
	路外駐車場以外	6,067	8,078

▲駐車場の整備台数の内訳（路外駐車場に事業者用駐車場を含まない）

【駐車場整備地区の路外駐車場の台数(当初及び見直し後)】

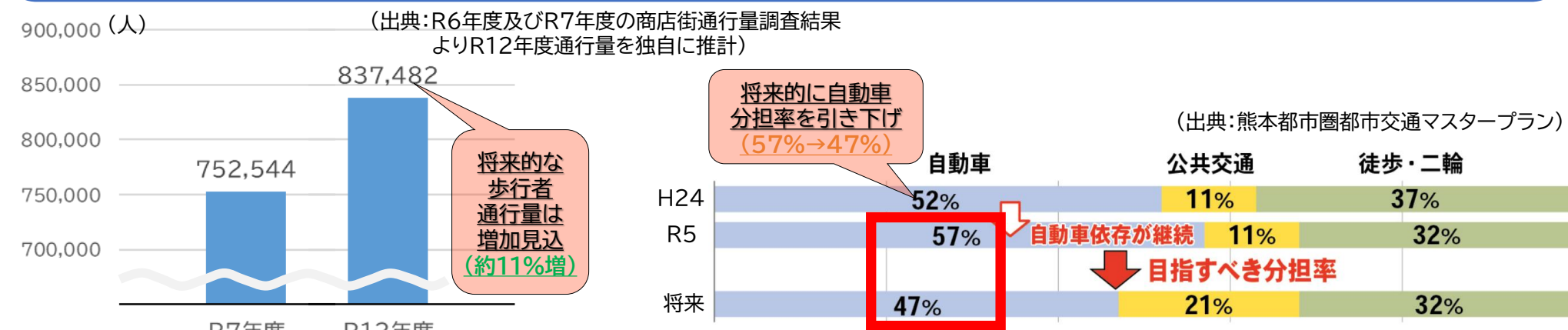


▲計画策定時の目標量の設定イメージ



第4章 駐車場整備に関する目標量

- R12年度の目標量は、R7年度の適正台数に歩行者通行量の増加見込(約11%増)や、市街地部との移動に伴う自動車分担率の将来目標(57%→47%)を加味して設定。
- 熊本駅周辺地区のR12年度の適正台数(3,122台)は、R7年度の整備台数(2,704台)を上回っていることから、将来的にはみだりに駐車場を増やさないよう、現状台数(2,704台)を目標量として設定。



▲中心市街地の歩行者通行量の変化

▲自動車分担率の将来目標 (市街地部との移動)

対象地区	整備台数 (R7)	適正台数 (R12)	目標量 (R12)	備考
駐車場整備地区 ※時間貸・店舗の駐車台数を対象	17,008台	16,432台	16,014台	
【内訳】				
通町筋・桜町周辺地区	14,304台	13,310台	13,310台	
熊本駅周辺地区	2,704台	3,122台	2,704台	現状台数を維持※

▲見直し後の目標量の設定イメージ

※平日と休日のピーク稼働率の差が大きく、駐車場の供給過多にならないようにする。

- 路外駐車場の見直しに伴い、「通町筋・桜町周辺地区」及び「熊本駅周辺地区」の目標年次(R12)における駐車場整備地区内の目標量を以下のとおり設定。

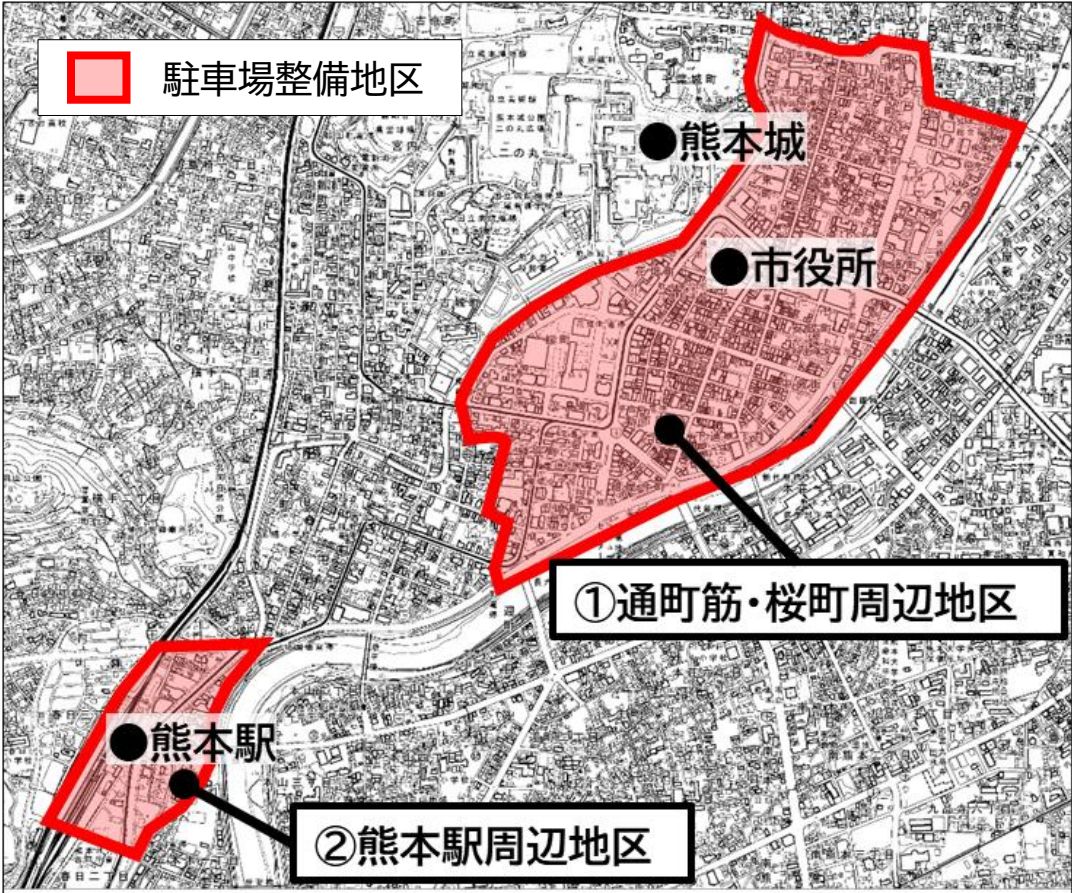
【目標量(R12)】

約16,000台

対象地区	見直し後の 目標年次の目標量
通町筋・桜町周辺地区	約13,300台 【14,304台→13,310台】
熊本駅周辺地区	約2,700台 【2,704台→2,704台】
合 計	約16,000台 【17,008台→16,014台】

※【 】の数字は【(R7年度の駐車台数)→(R12年度の目標台数)】を示す

▲目標年次(R12)の目標量



▲まちなか駐車場適正化計画の対象地区(駐車場整備地区) 4